



御田小 研究だより

平成28年9月28日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第2回研究授業報告

9月21日(水) 5校時 3年
(授業者 油 史枝、石川 遼
高田 悠平、六本木 友樹)

<算数> 単元名「はしたの大きさの表し方を考えよう」

<単元でねらっていること>

○小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにする。

<本時のねらい>

・小数第一位どうしの小数の加法の計算の仕方を理解し、説明することができる。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】



本時のねらいから授業の山場を決め、「めあて」を「**小数のたし算のしかたをせつ明しよう**」と設定し、本時の流れを考えました。どのように説明すればよいかを考えることで、様々に思考する児童の姿がみられました。(焦点化)

ICTを活用して、興味関心をもたせ、問題場面(1.5L+0.3L)が理解できるように工夫しました。(視覚化)



発表ボードを使って、自分の考えを発表することで話しやすくなりました。説明を聞いている児童には、視覚的に理解できて有効でした。(視覚化・共有化)



ペアやトリオで自分の考えを話し合い、友達と自分の考えの違いに気付くことができました。(共有化)



<授業を終えて>

「1.5L+0.3L」のたし算の仕方を説明するのに、LマスやdLマスの図、数直線などを使って自分の考えを書き、交流することで理解を深めることができました。「0.1のいくつ分」で計算するとよいことが分かりました。また、ICTを活用したり、ヒントカードを用意したりすることで、児童は興味をもち、意欲的に学習する姿がみられました。今後も、**自分の考えをもち、学び合う学習**を工夫して、指導していきます。